



平成 29 年 3 月期 第 2 四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成 28 年 11 月 10 日

上場会社名 オイシックス株式会社 上場取引所 東
 コード番号 3182 URL <http://www.oisix.com>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 高島 宏平
 問合せ先責任者 (役職名) 執行役員管理本部本部長 (氏名) 山中 初 (TEL) 03(5447)2688
 四半期報告書提出予定日 平成 28 年 11 月 11 日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家向け)

(百万円未満切捨て)

1. 平成 29 年 3 月期第 2 四半期の連結業績 (平成 28 年 4 月 1 日～平成 28 年 9 月 30 日)

(1) 連結経営成績 (累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
29 年 3 月期第 2 四半期	10,718	—	270	—	285	—	187	—
28 年 3 月期第 2 四半期	—	—	—	—	—	—	—	—

(注) 包括利益 29 年 3 月期第 2 四半期 187 百万円 (—%) 28 年 3 月期第 2 四半期 — 百万円 (—%)

	1 株当たり 四半期純利益		潜在株式調整後 1 株当たり四半期純利益	
	円	銭	円	銭
29 年 3 月期第 2 四半期	31.94	—	30.54	—
28 年 3 月期第 2 四半期	—	—	—	—

(注) 第 1 四半期より四半期連結財務諸表を作成しているため、平成 28 年 3 月期第 2 四半期の数値及び対前年同四半期増減率については記載しておりません。

(2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%
29 年 3 月期第 2 四半期	7,056	—	4,076	—	57.8	—
28 年 3 月期	—	—	—	—	—	—

(参考) 自己資本 29 年 3 月期第 2 四半期 4,075 百万円 28 年 3 月期 — 百万円

(注) 第 1 四半期より四半期連結財務諸表を作成しているため、平成 28 年 3 月期の数値については記載しておりません。

2. 配当の状況

	年間配当金					
	第 1 四半期末	第 2 四半期末	第 3 四半期末	期末	合計	
	円	銭	円	銭	円	銭
28 年 3 月期	—	0.00	—	0.00	0.00	0.00
29 年 3 月期	—	0.00	—	0.00	0.00	0.00
29 年 3 月期(予想)	—	—	—	0.00	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成 29 年 3 月期の連結業績予想 (平成 28 年 4 月 1 日～平成 29 年 3 月 31 日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1 株当たり 当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円	銭
通期	23,000	—	820	—	830	—	580	—	100.05	—

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

第 1 四半期より四半期連結財務諸表を作成しているため、対前期増減率は記載しておりません。

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	29年3月期2Q	6,149,188株	28年3月期	6,067,288株
② 期末自己株式数	29年3月期2Q	260,042株	28年3月期	270,000株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	29年3月期2Q	5,872,557株	28年3月期2Q	5,966,979株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビューの対象外であります。この四半期決算短信の開示時点において、四半期連結財務諸表に対する四半期レビュー手続は終了しております。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績の見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
3. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(セグメント情報等)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

（1）経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、政府の景気対策などの効果もあり緩やかな景気回復基調で推移したものの、個人消費におきましては、依然として先行きが不透明であり、お客様の選別の目が一段と厳しくなっております。また、共働き世帯の増加、健康志向の上昇など、ライフスタイル・価値観の変化に伴うお客様のニーズは多様化しております。

EC業界を巡る動きとしては、大手EC事業者や大手流通企業が、引き続きネット・スーパー事業の強化、オムニチャネル戦略の推進などに取り組んでおり、競争環境に変化が見られます。

このような環境を背景に、当社グループでは成長市場である食品EC市場におけるOisixブランドの確立や、高付加価値食品分野における独自性・競争優位性の確立に取り組んでまいりました。

具体的には、Facebook・LINEなどのSNSを活用した顧客開拓、お客様の嗜好や属性に合わせたWebページ作成による顧客転換などの向上を図るほか、イベントなどを通じた対面での勧誘を強化することにより、主力サービスである定期宅配サービス「おいしくすくらぶ」への集客に引き続き注力いたしました。

また、「豊かな食生活を、できるだけ多くの人に」という企業理念の実現を加速させるため、平成28年4月よりブランドロゴをリニューアルいたしました。これに合わせて、取り扱い商品のレシピ紹介や動画などを取り入れたビジュアル化の推進など、Webサイト（Oisix.com）内の売り場の進化に注力いたしました。

なお当社は、これまで定期宅配サービス（サブスクリプションコマース）の提供を通じて蓄積してきたアセット・ノウハウを活用し、自社のサービスに加え、他社のプラットフォームにおけるサービス拡大支援なども行い、「食」に関するサブスクリプションコマースにおいてNo.1プレイヤーになることを中期成長戦略として掲げております。

これらの結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は10,718,286千円となりました。利益面では、営業利益は270,893千円、経常利益は285,573千円、親会社株主に帰属する四半期純利益は187,596千円となりました。

販売経路（事業区分）別の売上高については、次のとおりであります。

[EC事業]

インターネットを通じて主に食品・食材の直販を行うEC事業においては、定期宅配サービス「おいしくすくらぶ」会員数が、前事業年度末（平成28年3月末）の111,036人から、当第2四半期連結会計期間末（平成28年9月末）には124,283人へ増加しており、計画を上回るペースで推移しております。

また、共働き世帯やワーキング・マザーなど忙しい女性の方を対象とした、安心・安全な献立が20分で完成するプレミアム時短サービス「KitOisix」を毎週お届けする定期宅配コース「KitOisix献立コース」がサービス開始から3年経過し、平成28年9月には会員数が44,000人を超え、順調に推移しております。

これらの結果、当第2四半期連結累計期間におけるEC事業の売上高は9,790,603千円となりました。

[その他事業]

ソリューション事業においては、「三越伊勢丹エムアイデリ」の物流サービスなどの受託を契機とした当社が保有するアセット・ノウハウを活用した三温度帯（冷凍・冷蔵・常温）の物流機能などを提供するサービスや、EC事業の事業運営で培ったリピートマーケティング、Webサイトのユーザビリティ改善、新規顧客獲得などのノウハウを活用したサービスなどのECコンサルティングを展開しており、新規クライアントの開拓に注力しております。

また、店舗事業においては、小規模店の恵比寿店・中規模店の吉祥寺店に加え、他社が運営する実店舗型スーパーにOisix専用コーナーを設ける「Shop in Shop」の取り組みが順調に拡大しており、当第2四半期連結会計期間末（平成28年9月末）には27店舗を展開しております。

これらの結果、当第2四半期連結累計期間におけるその他事業の売上高は927,682千円となりました。

（2）財政状態に関する説明

①資産、負債及び純資産の状況

当第2四半期連結会計期間末における総資産は7,056,401千円となりました。

流動資産は5,539,372千円となりました。主な内訳は、現金及び預金2,732,137千円、売掛金2,059,687千円であります。

固定資産は1,517,028千円となりました。内訳は、有形固定資産487,069千円、無形固定資産648,386千円、投資その他の資産381,572千円であります。

当第2四半期連結会計期間末における負債は2,979,700千円となりました。

流動負債は2,907,937千円となりました。主な内訳は、買掛金1,386,279千円、未払金1,083,683千円であります。

固定負債は71,762千円となりました。主な内訳は、資産除去債務69,900千円であります。

当第2四半期連結会計期間末における純資産は4,076,700千円となりました。主な内訳は、資本金924,996千円、利益剰余金2,945,809千円であります。

②キャッシュフローの状況

当第2四半期連結累計期間における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）の残高は、2,732,137千円となりました。当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況は次のとおりであります。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動により得られた資金は、223,633千円となりました。これは主に税金等調整前四半期純利益285,573千円、減価償却費102,475千円、法人税等の支払額155,906千円によるものであります。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動により使用した資金は、246,234千円となりました。これは主に無形固定資産の取得による支出130,210千円、連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出69,074千円によるものであります。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動により得られた資金は、30,683千円となりました。これは主に株式の発行による収入30,679千円によるものであります。

（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成28年7月28日付「連結決算開始に伴う連結業績予想に関するお知らせ」で公表いたしました平成29年3月期通期の連結業績予想に変更はありません。

なお、業績予想は当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

（1）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

なお、特定子会社の異動には該当していませんが、第 1 四半期連結会計期間より、株式会社とくし丸の株式を取得し子会社化したことに伴い、同社を連結の範囲に含めております。

（2）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

（3）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

当第2四半期連結会計期間 (平成28年9月30日)	
資産の部	
流動資産	
現金及び預金	2,732,137
売掛金	2,059,687
商品及び製品	359,992
仕掛品	8,136
原材料及び貯蔵品	27,386
未収入金	303,751
その他	149,085
貸倒引当金	△100,804
流動資産合計	5,539,372
固定資産	
有形固定資産	487,069
無形固定資産	
のれん	110,985
その他	537,401
無形固定資産合計	648,386
投資その他の資産	381,572
固定資産合計	1,517,028
資産合計	7,056,401
負債の部	
流動負債	
買掛金	1,386,279
未払金	1,083,683
未払法人税等	115,876
ポイント引当金	90,218
その他	231,879
流動負債合計	2,907,937
固定負債	
資産除去債務	69,900
その他	1,862
固定負債合計	71,762
負債合計	2,979,700
純資産の部	
株主資本	
資本金	924,996
資本剰余金	683,246
利益剰余金	2,945,809
自己株式	△477,444
株主資本合計	4,076,607
その他の包括利益累計額	
為替換算調整勘定	△1,364
その他の包括利益累計額合計	△1,364
非支配株主持分	1,457
純資産合計	4,076,700
負債純資産合計	7,056,401

（2）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 （四半期連結損益計算書）
 （第 2 四半期連結累計期間）

（単位：千円）

	当第 2 四半期連結累計期間 （自 平成28年 4 月 1 日 至 平成28年 9 月30日）
売上高	10,718,286
売上原価	5,463,310
売上総利益	5,254,975
販売費及び一般管理費	4,984,082
営業利益	270,893
営業外収益	
受取利息	19
受取配当金	4,230
受取補償金	3,008
持分法による投資利益	1,925
その他	7,233
営業外収益合計	16,416
営業外費用	
支払利息	11
株式交付費	730
為替差損	984
その他	9
営業外費用合計	1,736
経常利益	285,573
税金等調整前四半期純利益	285,573
法人税、住民税及び事業税	95,424
法人税等調整額	2,412
法人税等合計	97,837
四半期純利益	187,735
非支配株主に帰属する四半期純利益	138
親会社株主に帰属する四半期純利益	187,596

（四半期連結包括利益計算書）
 （第 2 四半期連結累計期間）

（単位：千円）

		当第 2 四半期連結累計期間 （自 平成28年 4 月 1 日 至 平成28年 9 月30日）
四半期純利益		187,735
その他の包括利益		
為替換算調整勘定		△584
その他の包括利益合計		△584
四半期包括利益		187,151
（内訳）		
親会社株主に係る四半期包括利益		187,012
非支配株主に係る四半期包括利益		138

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	当第 2 四半期連結累計期間 (自 平成28年 4 月 1 日 至 平成28年 9 月 30 日)
営業活動によるキャッシュ・フロー	
税金等調整前四半期純利益	285,573
減価償却費	102,475
のれん償却額	17,755
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	4,999
受取利息及び受取配当金	△4,249
支払利息	11
為替差損益 (△は益)	259
持分法による投資損益 (△は益)	△1,925
売上債権の増減額 (△は増加)	△44,885
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△29,178
仕入債務の増減額 (△は減少)	33,356
その他	11,974
小計	376,168
利息及び配当金の受取額	3,383
利息の支払額	△11
法人税等の支払額	△155,906
営業活動によるキャッシュ・フロー	223,633
投資活動によるキャッシュ・フロー	
有形固定資産の取得による支出	△30,515
無形固定資産の取得による支出	△130,210
投資有価証券の取得による支出	△13,170
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出	△69,074
その他	△3,263
投資活動によるキャッシュ・フロー	△246,234
財務活動によるキャッシュ・フロー	
株式の発行による収入	30,679
その他	4
財務活動によるキャッシュ・フロー	30,683
現金及び現金同等物に係る換算差額	△843
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	7,238
現金及び現金同等物の期首残高	2,724,898
現金及び現金同等物の四半期末残高	2,732,137

（4）四半期連結財務諸表に関する注記事項

（継続企業の前提に関する注記）

該当事項はありません。

（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記）

該当事項はありません。

（セグメント情報等）

【セグメント情報】

当第 2 四半期連結累計期間（自 平成28年 4 月 1 日 至 平成28年 9 月30日）

当社の事業は消費者向けに主に食品の宅配を行う E C 事業とその他事業から構成されておりますが、E C 事業の売上高及び営業利益の金額は、全セグメントの売上高及び営業利益の金額の合計額に占める割合がいずれも90%を超えているため、E C 事業以外の事業について重要性が乏しいことから、記載を省略しております。